

総務常任委員会

広域消防の現状について

5月9日 埼玉東部消防組合消防局

埼玉東部消防組合は、設立して5年を迎えます。

近年の火災件数は減少傾向にあります。減少理由の一つとして、住宅用火災警報器が普及したことが考えられます。一方で、救急件数は、高齢化の影響もあり年々増加しています。

広域消防となり、現場に一番近い消防車両が出動することにより、災害時の現場到着時間が短縮されています。大規模火災などに対応できるよう、高機能消防指令センターや消防車両の整備など、消防力を高め、素早い連携で被害の拡大を止めることができるよう備えています。

久喜消防署に災害支援の後方支援用として支援車が配備されました。また、ドローンも配備され、危険区域の状況確認など、人が立

ち入ることが困難な危険箇所の撮影や監視など、今後の活用が期待されます。

今後も、さまざまな災害に対応すべく各種車両や資機材の整備を図るとともに、併せて配備されている特殊車両や高度な資機材を最大限に活用できるよう日々の訓練を十分に行い、市民の安全安心を守ることを期待します。



東部消防組合本部を視察

文教厚生常任委員会

指定管理による学童保育について

5月10日 東松山市

東松山市は、公立の放課後児童クラブが5施設、NPO法人の放課後児童クラブが8施設、民間の放課後児童クラブが2施設あり、合計で15の施設があります。

そのうち、公立の放課後児童クラブでは、管理業務に民間活力を導入し、サービスの質の向上と管理コストの削減および創意ある提案をしてもらうことを期待し、指定管理者制度を導入しました。

指定管理者制度で運営している、きらめきクラブしんめいは、20年度から指定管理者制度を導入しています。常勤指導員も含めて、児童数40人までに対し3人以上、41人以上の場合は4人以上の保育士資格または教員免許を有する支援員が、子ども達を上手に宿題や行事に導いています。学童保育は、授業だけでは得られない集団の中で育ちあう場です。

行政は、コンセプトをしっかりと持ち、真に子ども達の成長を手助けし、安全に見守っていく仕組みを作ることが必要であると感じました。そして、このことが学童保育の充実につながることを期待します。



きらめきクラブしんめいを視察